

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かもいけバオバブ			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日 ～ 令和8年1月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日 ～ 令和8年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・理学療法士・作業療法士・心理士を常勤で配置しており、各方面の専門的な視点から子どもと関わっている。 理学療法士・作業療法士は医療での小児リハ経験者であるため、0歳児からの年少児や重症心身障害児等への対応も可能である。	子どものその時々ニーズに合わせ、関わるスタッフ（職種）を決め、専門的な支援を行っている。	今後、言語聴覚士も配置できればと考えている。
2	個別療育を中心に行っている。	1対1で関わることで、一人一人を丁寧に評価し、それぞれの子どもに合わせたプログラムの内容・難易度を決めて実施している。	より細かく対応できるように各職員のスキルアップに努めていく。
3	基本保護者同伴の通所である。	保護者との通所であるため、こまめに情報共有を行い、困りごとにも早急に対応できるようにしている。	療育内だけにとどまらず、家庭や学校での生活まで良い変化をつなげていけるように、保護者との連携をより強めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育に通う子どもたちに関しては、保護者同士の交流の場が得られにくい。	個別療育では同時間帯に多くても2～3名の利用で、年齢も様々であったり、個室を利用していたりするため、保護者同士の交流も生じにくい。	交流が生まれたら良さそうな子ども・保護者同士を、可能であれば同時間帯または前後の時間帯に組み、スタッフも間に入って関係をつなぐ等の工夫を行う。
2	個別療育主体であり、集団療育目的で他事業所との併用で通っているケースが多い。	必要に応じて小集団療育も対応可能であるが、送迎を行っていないため、利用につながりにくい。	当事業所としては、現時点では送迎を行うことは難しい。個別療育を通して子どもの成長を促し、他事業所や園での集団生活での困り感の軽減にまでつながるように努める。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かもいけバオバブ

公表日 令和8年2月10日

利用児童数 23名

回収数 21名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	4	3	10	短時間の個別療育の為不明	事業所としての交流はないですが、ほとんどのこどもがこども園・幼稚園・保育園等との併用利用であり、必要に応じて情報共有をおこなっていきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2		8		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	4	13	個別支援なので保護者会はないですが、一緒に来ると話しかけてくださったり、兄妹もリハビリの様子が见れて嬉しそうです。／特に求めてないので必要ないです。	保護者会等は行えておりません。保護者同伴での通所のため、必要に応じて職員が間に入り、療育中または療育前後に保護者同士の交流が図れるように支援します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	2	11		ホームページ等での活動報告は行っていますが、自己評価の結果や支援プログラムはホームページへ公開をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			6		各マニュアルの策定は行い、保護者の目につきやすい位置に概要の冊子として設置しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	2	8		年に2回建物全体での避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1			毎週楽しみに通所しています。いつもありがとうございます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年2月10日				
かもいけバオバブ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		保育チーム、リハチームでそれぞれ療育室を設けており、十分なスペースを確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員（理学療法士・作業療法士・心理士）3名を常勤にて配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		集中しやすいような個室・半個室、運動しやすい広いスペースと分かれている。車椅子やバギーでも利用しやすいようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日活動後に掃除・消毒を行っている。 3か月に1回清掃業者による定期清掃も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個室（相談室）や半個室（パーティション）を使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員同士で情報共有・意見交換を良く行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内での各委員会・研修が行われている。 外部研修への参加も促している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		事業所内への掲示、ホームページへの掲載にて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		丁寧に評価・アセスメントを行い、個別支援計画書・専門的支援実施計画書を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当職員と一緒に計画書の作成を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		都度スタッフ間で療育内容を共有し、計画に沿った支援ができているか確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて遠城寺・Jmap・WISCIV等の発達検査を行っている。日々の行動観察も丁寧に記録に記載している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的にニーズの確認、評価・アセスメントを行い固定化しないようにしている。同じようなプログラムでも目標・ねらいを変化させていることもあり。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を中心に丁寧に活動を行っている。 必要に応じて小集団療育も対応はしている。	当事業所が送迎を行っていないため、集団療育は他事業所に通い、併用している利用者が多い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		こどもひとりに対して複数の職員が関わる場合には、各職員がそれぞれの視点から記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回、計画書作成前にモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議にはできる限り担当職員が参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて療育センター、児童相談所、他医療機関への紹介を行うようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		ほとんどのこどもがこども園・幼稚園・保育園等との併用利用である。保護者を通して情報共有を行っているが、必要に応じて電話や訪問などで直接情報共有を行うこともあり。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて移行支援シートを用いて就学先との連携を図っている。	全員に対して行っているわけではないため、多くのこどもの情報共有を行えるように努めていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		地区の連絡会には毎回参加し、情報交換を行っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	事業所としての交流はないが、ほとんどのこどもがこども園・幼稚園・保育園等との併用利用である。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		基本保護者同伴での通所のため、毎回療育中または前後で情報共有を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	特別にペアレントトレーニングや研修は行っていないが、保護者同伴での通所のため、その都度情報提供を行っている。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。事業所内にも重要事項説明書・運営規定・支援プログラムの掲示を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画書は、毎回ニーズを確認した上で作成を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		半年に1回は計画書の作成・説明・交付を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		基本保護者同伴での通所のため、担当スタッフとその都度情報交換を行ったり、心理士による面談を行ったりしている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会は行っていない。保護者同伴での通所のため、療育見学时や療育後に保護者同士の交流がある場合もあり。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	保育チームは毎月の活動予定表を配布している。毎回保護者への直接的なフィードバックを行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイル等の個人情報の記載があるものは、職員しか入らない事務室で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内のBCP委員会に参加し、法人全体で災害・感染症に備えた準備を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時・年度始めにプロフィール表の記載や聞き取りにて、確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事等の提供は行っていないが、プロフィール表の記載により確認はしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内で安全計画を作成している。法人内の事故対策委員会・研修に参加し、事業所内での情報共有を図っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		職員による安全確保に気をつけているが、基本保護者同伴での通所のため、必要に応じて保護者にも協力をもらっている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの記載・共有を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内の虐待防止委員会・研修に参加し、事業所内での情報共有を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		法人内の身体拘束防止委員会・研修に参加し、事業所内での情報共有を図っている。	